

# 令和5年度学校経営方針

諫早市立小栗小学校

日本国憲法

教育基本法

教育関係諸法

学習指導要領

## 長崎県教育方針

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。

学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

## 小栗小学校教育方針

本校は、児童一人一人を大切に、健康で安全な生活を基調に、体・知・徳の調和のとれた発達を図り、「生きる力」を育み、「自立」する児童の育成をめざす。

そのためには、児童が次のことができるようになる(身に付けられる)創意ある教育活動を推進する。

- 「自ら身体を鍛える」
- 「耐性を身に付け発揮する」
- 「高い思考力と表現力を備える」
- 「正しい判断と行動ができる」
- 「人の心の痛みや悲しみを理解できる」
- 「よりよい人間関係を築ける」
- 「夢や目標の実現に努力し続ける」
- 「生きる喜びを感得している」

私たち職員は、教育者としての使命に徹し、児童の成長を願う真摯な思いと教育への情熱を児童の教育に傾け、英知を結集するとともに、実践力を発揮し本校教育活動の充実と努める。そして、生き生きとした明るく伝統ある小栗小学校の校風の樹立に努める。

## 諫早市教育方針

諫早市教育委員会は、市民の理解と協力のもとに、「教育のまち諫早」をめざす。

このため、人間尊重の精神を基調として、徳・知・体の調和のとれた教育を推進するとともに、生涯を通じて学び、家族・郷土を愛し、国家及び国際社会に貢献できる個性豊かな人間の育成を図る。

特に、教育にたずさわる者は、その使命感に徹し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛と豊かな人間性を基盤とするすぐれた指導力を身につけ、相和して本市教育の充実発展に努める。

## 学校経営方針(目指す学校づくり)

家庭や地域と協働しながら、自立に向けた活力ある教育活動を展開する学校

### ○ 地域に関わった学校の実現

- ・地域に児童がいて学校があり、教師がいることの再認識
- ・教育目標や教育課程の意図を家庭や地域と共有し共に子どもを育む教育実践
- ・学校支援会議を機能させ子どもを見守り育てる地域力を取り込む教育実践

### ○ 児童一人一人が輝く教育の実践

- ・児童一人一人が考え、判断し、表現し、知識や技能を獲得できる授業
- ・児童一人一人が役割を持ち、やり遂げ、自信をもてる教育活動
- ・児童一人一人に思いやりとやさしさを醸成する教育活動

### ○ 情熱と誠意ある教育活動の推進

- ・教育活動全般により良いものを求める職員集団(和と切磋琢磨と向上心)
- ・児童と共に歩みながらも指導者である職員集団(子どもの目線と大人の目線)
- ・教えるべきことは繰り返し教え、できるまで待てる職員集団(徹底と自主性)

### ○ 学ぶ場らしい環境の整備

- ・教材、教具の整理と整備
- ・教育活動の実践と児童の活動が醸し出される教室環境
- ・整った落ち着いたある校舎内外の環境

## 学校教育目標

命を大切に、耐性と学力を身に付け、友と協働できる子どもの育成

### 目指す学校像

#### ○ 明るく思いやりのある学校

- ・挨拶や返事を大切にしている学校
- ・コミュニケーション力向上
- ・道徳教育の充実

#### ○ 共に学び、実践する学校

- ・基礎基本の定着と学力の保障
- ・主体的・対話的深い学びの実現に向けた授業改善
- ・自治能力の育成

#### ○ けじめのある楽しい学校

- ・規律ある生活態度の育成
- ・清掃活動の充実
- ・チーム小栗としての協働

### 目指す児童像(お・ぐ・り)

#### ○ お おきな ころで (徳)

- ・思いやりのある子
- ・助け合い、協力できる子
- ・命を大切にしている子

#### ○ んぐん のびる (体)

- ・元気に遊ぶ子
- ・体力の向上に努める子
- ・困難をのりこえる子

#### ○ り っぱな かんがえ もつ こども (知)

- ・基礎学力を身につける子
- ・考えを高める子
- ・学ぶ意欲をもつ子

### 目指す教職員像

#### ○ 一人一人の児童を大切にしている教職員

- ・児童理解に努め特性を見極めた日々の指導
- ・共通理解・共通実践の学年経営、集団のよさと個を伸ばす学級経営
- ・人権感覚を磨き、いじめや不登校の早期発見、早期対応

#### ○ 職責を自覚し、常に学び続ける教職員

- ・児童理解と教材研究に裏付けされた授業を実践
- ・基礎基本の定着と学力向上の方策を追究
- ・組織の一員として互いを尊重し磨き合うことでの組織力の強化

#### ○ 保護者や地域から信頼される教職員

- ・本校の教育活動に情熱を持って取り組む
- ・細やかな情報発信の定期化
- ・保護者や地域の中に専門家に支援を求める勇気

## 確かな学級経営

- 児童の実態を早期に把握し、必要に応じて面談・関係機関との連携等を図り、児童・保護者との信頼関係を深める学級経営の充実を図る。
- 一人一人が、かけがえのない人間として大切にされ、頼りにされていることが実感できる人間関係を構築する。
- 学習規律の徹底を図る。

## 家庭・地域と連携した教育活動の推進

- 地域とともにある学校づくりを目指し、家庭・地域との連携を密にしながら、児童を見守り育てる地域の教育力を取り込む実践を試みる。(健全育成会、学校支援会議等)